

平成28年度 第1回 匠瑤市食育推進協議会 議事録

会議の概要

開催日時	平成28年6月29日(水) 13時30分から14時50分まで	
開催場所	匠瑤市民ふれあいセンター 1階 談話室	
出席者の氏名	委員	南波隆(匠瑤市校長会 給食担当) 小林淑子(匠瑤市農業振興会朝市組合 副組合長) 大木すみ江(匠瑤市商工会女性部 部長) 柴崎美佐子(ちばみどり農業協同組合 営農センターそうさ調査役)
	代理人	鎌形晴美(匠瑤市保健推進委員会 副会長)
事務局	大川洋(産業振興課 統括)	木内将市郎(産業振興課 副主査)
欠席委員	川手一宏(旭匠瑤医師会 理事) 鈴木良則(匠瑤市商工会青年部 部長) 高橋康二(健康管理課長)	越川淑美(匠瑤市PTA連絡協議会 会長) 林暁男(食育ボランティア) 有田光(学校教育課長)
議題	(1) 第2次匠瑤市食育推進計画の策定及び協議会の運営について (2) 会長及び副会長の選出について (3) 数値目標の達成状況について (4) 市民意識調査の項目について (5) その他	
配付資料	会次第 資料1 第2次匠瑤市食育推進計画(仮称)策定の流れ 資料2 匠瑤市食育推進協議会規則 資料3 匠瑤市食育推進協議会委員名簿 資料4 匠瑤市食育推進協議会専門部会員名簿 資料5 食育推進計画策定スケジュール 資料6 現行の食育推進計画に関する資料 資料7 匠瑤市食育推進計画 数値目標の達成状況について 資料 匠瑤市食育推進計画 資料 食育推進計画策定のためのアンケート調査報告書 資料 食育推進計画策定のためのアンケート調査(案)一般市民用 資料 食育に関するアンケート調査(案)小学5・中学2年生用 資料 JAちばみどり食育関連事業に関する資料 資料 「自然の恵みまるごと体験」チラシ	

## 議事要旨

発言者	発言要旨
事務局	第1回 匠瑳市食育推進協議会 開会の挨拶
各委員	各委員の自己紹介
事務局	欠席委員の紹介、会議の出席状況の報告、会の成立の報告 これから議事に入るが、議長役の会長の選出はこの後に行う。それまでの間は事務局進行でよいか。
委員一同	(承認)
事務局	資料確認 議題(1) 第2次匠瑳市食育推進計画の策定及び協議会の運営について 事務局から説明する。
事務局	資料1～6により説明
事務局	以上の説明に対し質問等はあるか。(なし) 議題(2) 会長及び副会長の選出 互選でお願いします。
委員	最近では教育現場での食育の取組みが注目されている。 南波委員いかがか。
事務局	他に推薦あるか。(なし・承認) 副会長は会長を補佐する立場である。南波会長から推薦を頂きたい。
会長	今までの活動を勘案し、小林委員を副会長に推薦する。
事務局	会長の案でよいか。
委員一同	(承認)
会長	挨拶
副会長	挨拶
事務局	協議会規則により、会長が議長を務めることになる。南波会長に議事進行をお願いします。
会長	議題(3) 数値目標の達成状況について 事務局の説明を求める。
事務局	資料7 匠瑳市食育推進計画 数値目標の達成状況について を 基に説明
会長	意見等あるか。
委員	確認だが、網掛けで空欄の部分はアンケート調査実施後に数字を入れるため、アンケート内容としては外せない項目になるという理解でよいか。
事務局	その通りである。 現状値の把握、前回との比較のために、質問項目として残す必要がある。

発言者	発言要旨
会長	他にあるか。(なし) 議題(4) 市民意識調査の項目について 事務局の説明を求める。
事務局	資料 食育推進計画策定のためのアンケート調査(案) 一般市民用 資料 食育に関するアンケート調査(案) 小学5・中学2年生用 を 基に説明 アンケート調査票は、前回調査結果との比較や数値目標の達成状況 確認のため、前回のものを踏襲した内容となっている。先日行われた 庁内の専門部会で出された意見を反映し、案としてお配りした。
委員	主な変更点は。
事務局	大幅な変更は加えていないが、より回答しやすくなるよう、質問項 目をスリム化した。 各委員で実際にアンケートを実施してみて、気づいた点について協 議していきたいと考えるが、いかがか。
会長	では、そのようにしたい。
	(一般市民用アンケート実施)
会長	意見等あるか。 では自分から。 質問22について、(1)～(2)は自分が体験していることなので答 えやすいが、(3)～(5)は「匝瑳市ではどうか」という聞き方のた め、判断が難しい。「思いますか」や「自分の周りでは」などを加え るとわかりやすくなるのでは。
事務局	そのようにしたい。専門部会でも、答えづらいという意見が出た。 前回のアンケート結果でも「わからない」が多かった。
会長	質問24の各品目のうち、14「海草」とは、ワカメなどの海藻類の 事ではなく、固めた食品を指すということでしょうか。
事務局	その通りである。
会長	海草で伝わるだろうか。
委員	ここにいる委員の皆さんは、共通認識できていると思う。
会長	地元の人には単に「海草」といってもイメージできると思うが、転入 者や若い世代では分かりづらい方もいるのではないかと。
委員	海草の他に呼び方はあるか。
委員	海草こんにやくという呼び方もあるが、こんにやくを入れているわ けではないため、正確ではないと思う。単に海草でよい。
事務局	海藻類との混同を避けるため、念のため補足説明を入れておきたい。 い。

発言者	発言要旨
副会長	生産者の立場から申上げるが、地域の特産品として「棒もち」を入れてはどうか。このあたりでは棒もちを知っている人は多いが、安房の方ではほとんど知られていないなど、地域性がある特産品だ。
事務局	項目に入れるのは問題無いと思われるが、平成 23 年度当時の協議会で棒もちの名称・表記について協議されていたと思う。そのあたりを踏まえたい。
副会長	大原幽学の性学もち、というが、このあたりでは違和感がある。
会長	昔から住んでいると棒もちの方がピンとくる。
委員	平成 23 年度当時も、性学もちではわかりづらいと発言した。
委員	保健推進委員が第二中学校で棒もちを使った調理体験を実施したが、去年は名称を「性学もち（棒もち）」と表記した。
会長	匝瑳市民については「棒もち（性学もち）」のほうがいいのでは。
副会長	自分は「棒もち」とラベルを張っているが、県の紹介ではなんと表記しているか。
委員	県では海匝地域の特産品として「性学もち」と表記している。
委員	匝瑳市内では「棒もち」と言う方が多いのではないか。野栄でも「棒もち」として作っている人はいる。
会長	では「棒もち（性学もち）」としたい。 他にあるか。
事務局	逆に事務局から皆さんのご意見を頂きたい。 質問 22 に「ハス」と「セリ」が挙げられているが、現在の特産と言う意味では載せるべきかどうか。
会長	自分たちが子どもの頃、八日市場駅周辺にハスやセリがすごかったが、最近は見ない。
委員	前回の計画策定時の平成 23 年度当時は、警察署の裏でハス・セリが作られていたが、今は無い。
会長	昔、農家が水の中に入って洗っている風景をよく覚えている。 この項目は自分も最初丸を付けたが、今は無いと思い消した。 市内では作付面積など資料はあるのか。
事務局	統計上存在しないと思われる。
副会長	自生することはあるだろうが、生産農家と言う意味では市内にはいないと思う。良い物だとは思いますが。 今でも、ハスは旧干潟では作っているようだ。
会長	今は赤ピーマンの方が有名ではないか。
委員	自分の年代からすると、ハスもセリもきっと特産品と言うイメージを持っている人が多いが、若い人はおそらくそうでは無い。アンケートの意図として、そうした傾向が読み取れば良いと考えるか。

発言者	発言要旨
委員	自分たちは知っているから丸をつけることができると思うが、若い世代の気持ちになって回答すると、おそらく丸を付けないと思う。
会長	前回も入っていたか。
事務局	前回も入っている。報告書 49 ページによると、ハスが 51.2%、セリが 43.5%である。
会長	そうすると、年数を経て認知度が下がることが予想される。その変化を確認できるのでは。
委員	しかし、特産品と呼べるのか。単に知っているだけで丸を付ける人もいるかもしれない。
事務局	前回実施時は、赤ピーマンは認知度が低かった。
会長	おそらく上昇しているだろう。
委員	そうした変化の動向はみられるかもしれない。
会長	前回調査からの変化を見る点、年齢層ごとの認知度の確認の意味でも、項目に残すことでどうか。
事務局	報告書 50 ページによると、40 代以上は知っているという回答が多いが、若年層は低い。その後の変化を確認する意味で残したい。
会長	その他あるか。(なし) 続いて小中学生用アンケートについても、意見を賜りたい。 先ほどと同様にアンケートを実施してみて、気づいた点について協議していきたい。
	(小中学生用アンケート実施)
会長	意見等あるか。
委員	質問 2 に「ふだん」とつけた理由はなにか。
事務局	朝早く起きなければならないなど特別な事情を除き、平時はどのくらいの頻度で朝食を食べているかを強調するために入れてある。
委員	質問 10 で夕食の時間を聞いているが、これは季節によって変わってしまうのではないか。「一番多い」などを付け加えると良い。
会長	家族が週に何回か遅い日がある家庭もある。標準時はどのくらいの時間になるのか、より分かるような表記にしてはどうか。
事務局	そのように修正したい。
委員	小中学生用のアンケートは、全学年に対し行うということか。
事務局	対象は前回と同様、小学校 5 年生と中学生 2 年生である。 学校の先生に時間を取っていただき、読み上げる方式で実施する。
委員	低学年の場合、漢字が読めるかどうかという問題があると思ったが、読み上げなら問題ないと思う。
会長	他にあるか。

発言者	発言要旨
事務局	<p>では、事務局から補足したい。</p> <p>近年孤食がクローズアップされていることを踏まえ、誰と一緒に食事をとるかを項目に盛り込んだ。質問4で朝飯、質問9で夕食についてそれぞれ問う。</p> <p>これは、専門部会にて「誰と一緒に食べるかは食事の大事な要素だ」という意見が出たことを反映した。</p> <p>また、一人で食べることが多い場合、その要因についても少し掘り下げて確認する。</p>
委員	質問20は不要ではないか。直後に質問21で特産品を聞いている。
事務局	質問21で具体的に品目を聞いているので、重複・混同を防ぐため削除したい。
委員	コンビニ弁当・コンビニおにぎりなどを家庭でどのくらい食べるかを確認してはどうか。最近は親が忙しい事もあり、普段はもちろん、運動会などもコンビニ弁当で済ませるところもある。
事務局	食事の内容として、出来合いのものをどれだけ食べるか、と言う項目を追加したい。
会長	<p>他にあるか。(なし)</p> <p>これでよいか。</p>
委員一同	(承認)
会長	議題(5)その他について、何かあるか。
委員	<p>資料 JA ちばみどり食育関連事業に関する資料 を基に農協の食育事業について説明</p> <p>保育園に手作り味噌を贈呈したり、小学生に農業体験・調理体験を実施している。</p>
会長	<p>他にあるか。(なし)</p> <p>では、全ての議題の審議を終了したので、議長を降ろさせていただく。</p>
事務局	<p>議長お疲れ様でした。また、慎重審議ありがとうございました。</p> <p>事務局の方としては、頂戴した意見や課題を計画やアンケートの中に反映させていきたい。本日は以上です。ありがとうございました。</p>
	閉会